



オフタイムの楽しみ 子育て・教育

子どもたちにも身に付けさせたい 時代をたくましく生き抜く力

これからの時代を生き抜く力を身に付けさせたいと考えるときに、佐藤優氏に、いつか学校を創ってほしいと願う人は多いのではないかと。

『超したたか勉強術』は、英国の歴史教科書に学ぶ形で、たくましい「思考の鑄型」を身に付ける具体策を示す。

本書を読んで、私もすぐに英国の歴史教科書を注文した。これまでの日本の歴史教科書が、信頼できる知識と教養を与えてくれたの

は確かだが、なるほど、こういう思考訓練は求めてこなかった。

私は「お金のことばかり言わんばい」という昭和の教育を受けて育った一人だが、わが子やわが教え子に、お金のことを自信を持って教えられると切り切れる人がどれほどいるだろうか。『世界標準』のお金の教養講座』は、その指針を示す。

「貯金しろ」「無駄遣いするな」といった指導をするか、たまに「お札なんてただの紙つ切れだ」とう

選・評
高濱正伸
花まる学習会代表

そぶく程度が、平均的な大人の姿ではなからうか。この本は、お金を語ることで、信用されることの価値、そのために大切な「約束を守る」などの行動、価値を見極める力、相手の立場を想像することなど、生きる力そのものを語って、説得力がある。教科書として採用してほしいくらいだ。

「ここで遊んではいけません」と立て札を立てさえすればお役御免としてきた行政や教育関係者に読んでほしい一冊が、『子どもが体験すべき50の危険なこと』。日本では無理だろうという内容も入ってはいるが、心のたくましさや意欲を育てるために大切な視点がある。地域が存在し、異年齢構成のガキ大将システムがあったころには先輩の子から後輩の子へ伝承された「危険な遊び」も、今は気の利いた大人が、自身で責任を取る形で、経験させてあげなければならない時代なのかもしれない。



『超したたか勉強術』
佐藤 優 著
(朝日新書 760円)



『「世界標準」のお金の教養講座』
泉 正人 著
(角川フォレスト 1200円)



『子どもが体験するべき50の危険なこと』
Gever Tulley, Julie Spiegel 著
金井哲夫 訳
(オライリー・ジャパン 2000円)

アドラーブームはこの1冊からはじまった

嫌われる 勇気

自己啓発の源流 「アドラー」の教え

嫌われる 勇気

世界各国で ベストセラー

岸見一郎 古賀史健
定価: 本体1500円(+税) 978-4-478-02581-9
ダイヤモンド社